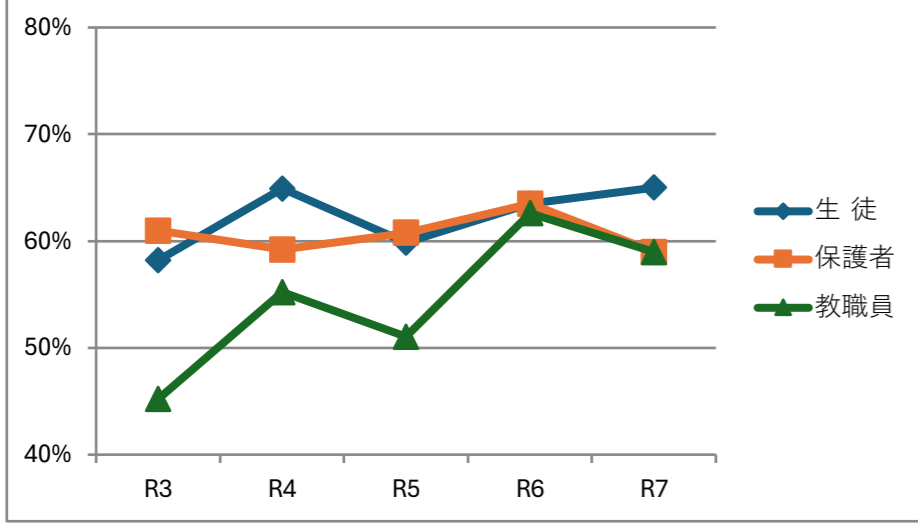


1. 令和7年度 学校教育自己診断 集計結果

対象	生徒					保護者					教職員				
	R3	R4	R5	R6	R7	R3	R4	R5	R6	R7	R3	R4	R5	R6	R7
回答数	354	325	308	362	284	219	131	181	96	151	45	55	47	41	47
総数	575	535	519	522	476	575	535	519	522	476	58	60	58	59	61
回答率(%)	61.6%	60.7%	59.3%	69.3%	59.7%	38.1%	24.5%	34.9%	18.4%	31.7%	77.6%	91.7%	81.0%	69.5%	77.0%

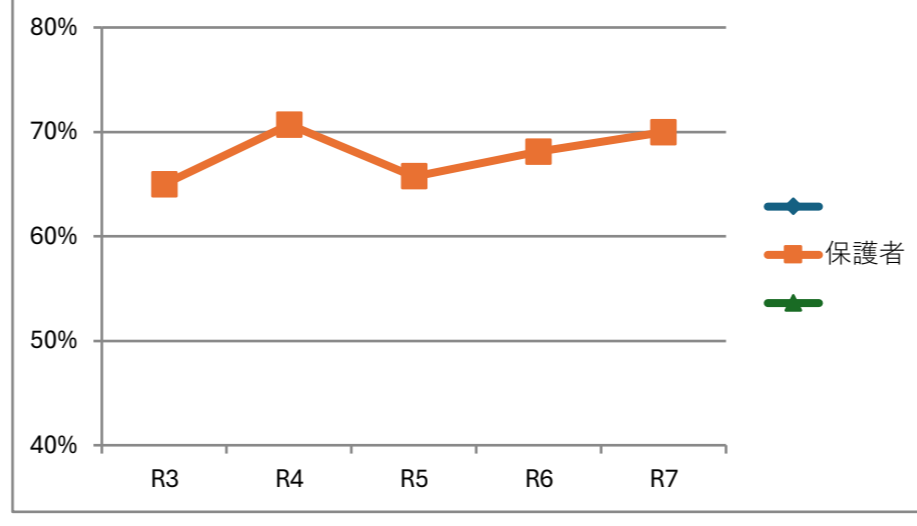
項目1 全体
1. 生徒 学校に行くのが楽しい。
1. 保護者 子どもは学校に行くのを楽しみにしている。
1. 教職員 生徒は学校生活に満足している。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	58.2%	64.9%	59.8%	63.5%	65.0%
保護者	61.0%	59.2%	60.8%	63.5%	59.0%
教職員	45.2%	55.2%	51.1%	62.6%	59.0%



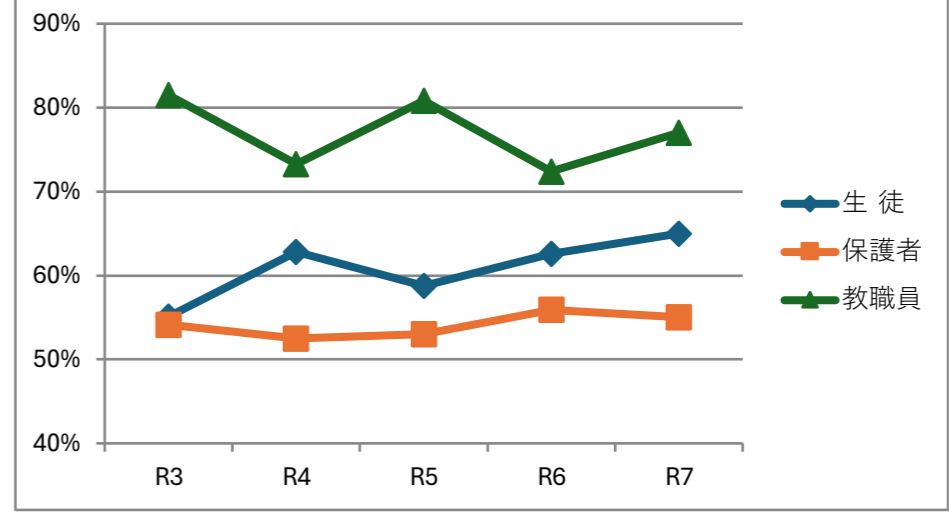
項目2 全体
2. 保護者 先生は、子どもを理解している。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
保護者	65.0%	70.7%	65.7%	68.1%	70.0%



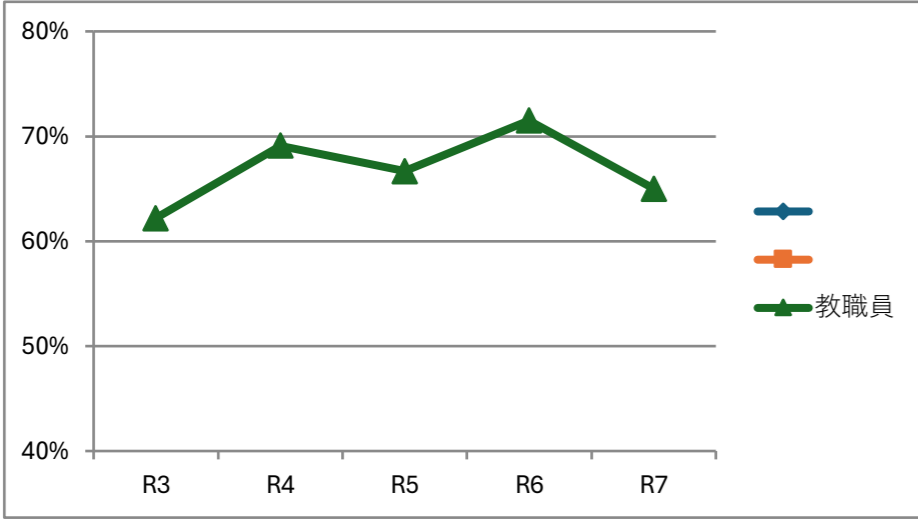
項目3 教務部
2. 生徒 授業はわかりやすく楽しい。
3. 保護者 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。
2. 教職員 生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について、工夫している。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	55.1%	62.8%	58.8%	62.6%	65.0%
保護者	54.1%	52.5%	53.0%	55.9%	55.0%
教職員	81.5%	73.3%	80.9%	72.4%	77.0%



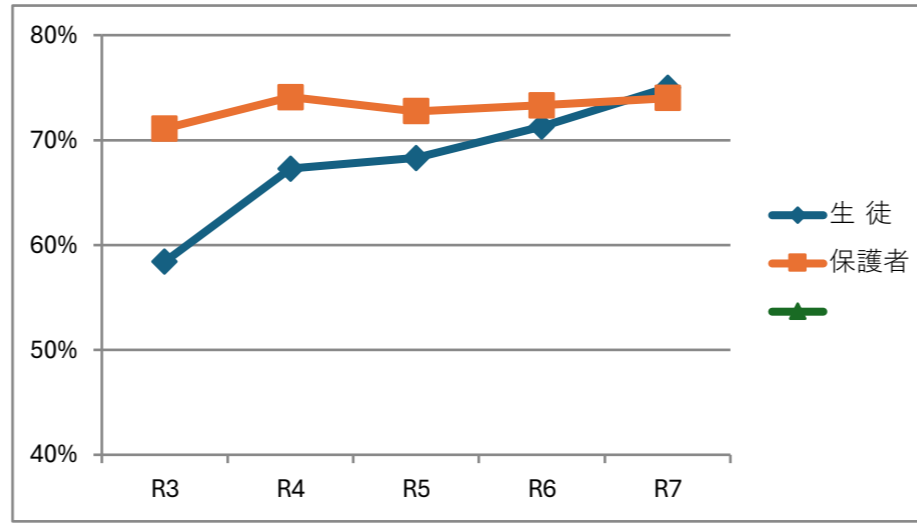
項目4 教務部
3. 教職員 教員の間で、授業方法などについて検討する機会を積極的にもっている。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
教職員	62.2%	69.1%	66.7%	71.5%	65.0%



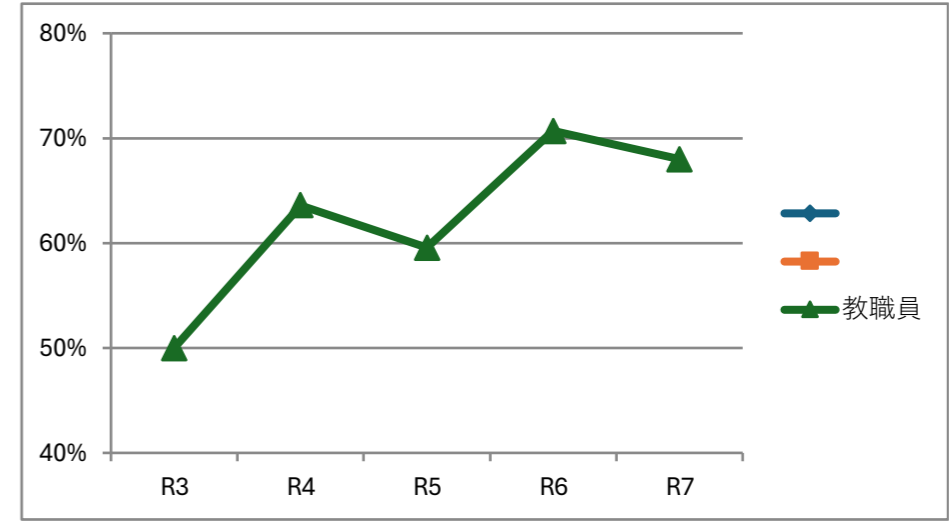
項目5 教務部
3. 生徒 生徒が努力したことをほめてくれる。
4. 保護者 先生は子どもの頑張りを理解してくれる。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	58.4%	67.3%	68.3%	71.3%	75.0%
保護者	71.1%	74.1%	72.7%	73.3%	74.0%



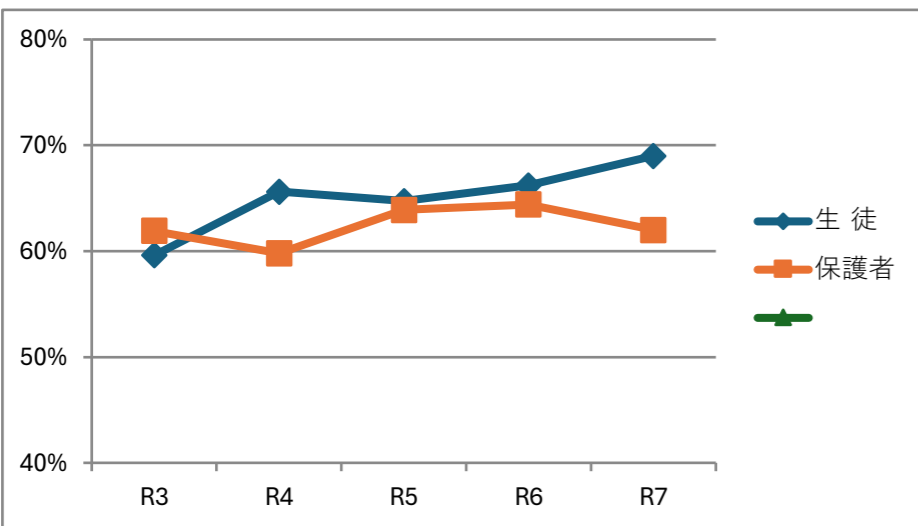
項目6 教務部
4. 教職員 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の評価に生かしている。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
教職員	50.0%	63.6%	59.6%	70.7%	68.0%



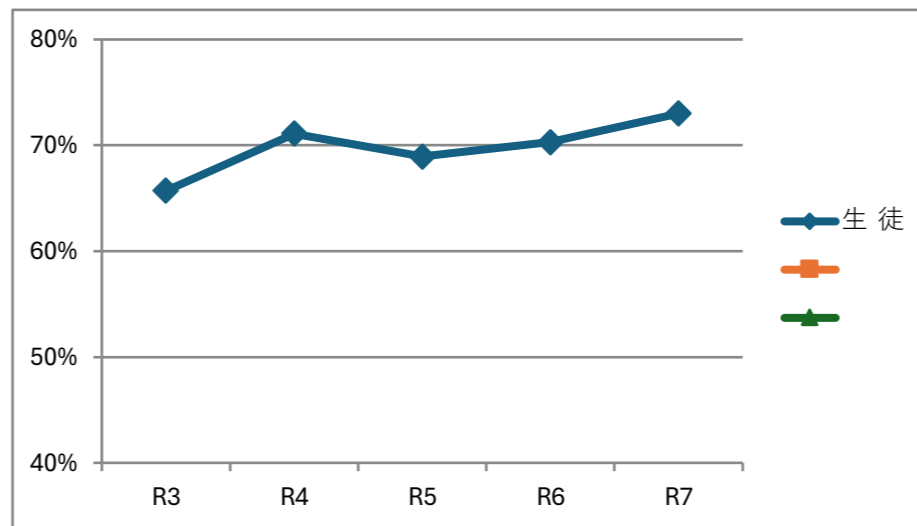
項目7 教務部
4. 生徒 セットや選択科目は、自分の学びたいことが準備されている。
5. 保護者 選択授業は、子どもの興味や関心、進路希望にあっている。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	59.6%	65.6%	64.7%	66.2%	69.0%
保護者	61.9%	59.8%	63.9%	64.4%	62.0%



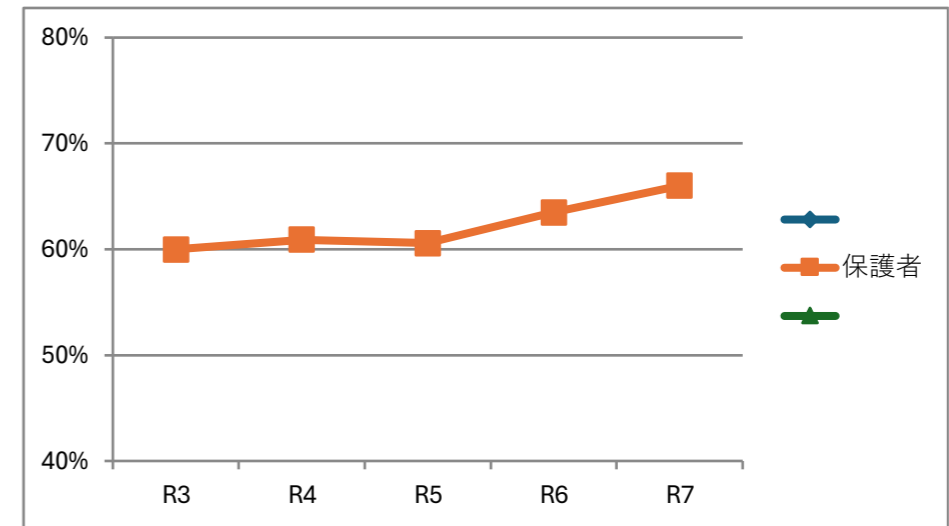
項目8 進路指導部
5. 生徒 将来の進路や生活について、考えることがある。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	65.7%	71.1%	68.9%	70.3%	73.0%



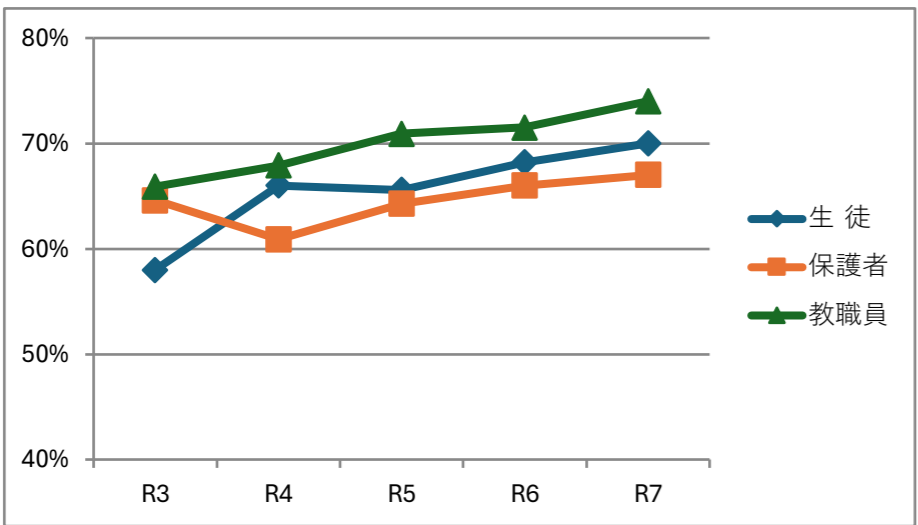
項目9 進路指導部
6. 保護者 学校は、進路に関して、家庭への連絡や情報提供を行っている。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
保護者	60.0%	60.9%	60.6%	63.5%	66.0%



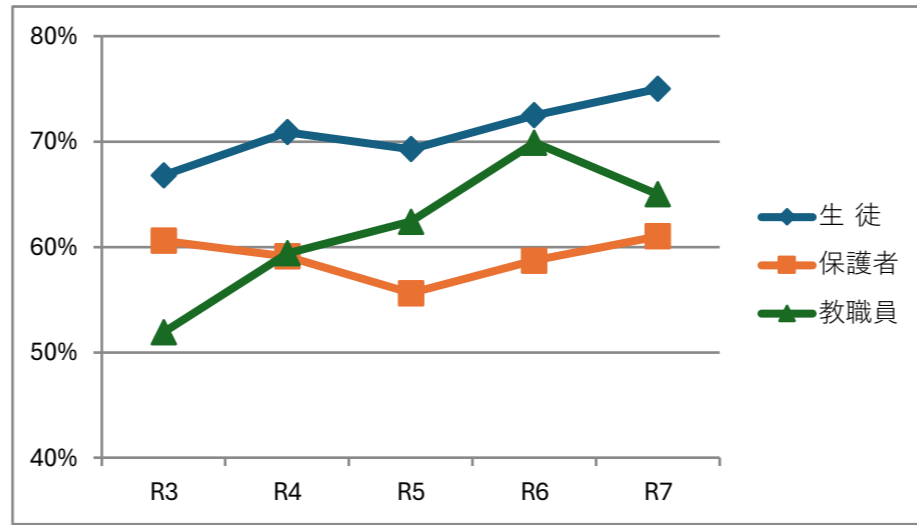
項目10 進路指導部
6. 生徒 先生の進路指導はわかりやすい。
7. 保護者 学校は、将来の進路や職業について適切な指導を行っている。
5. 教職員 生徒一人ひとりが、興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	58.0%	66.0%	65.6%	68.2%	70.0%
保護者	64.6%	60.9%	64.3%	66.0%	67.0%
教職員	65.9%	67.9%	70.9%	71.5%	74.0%



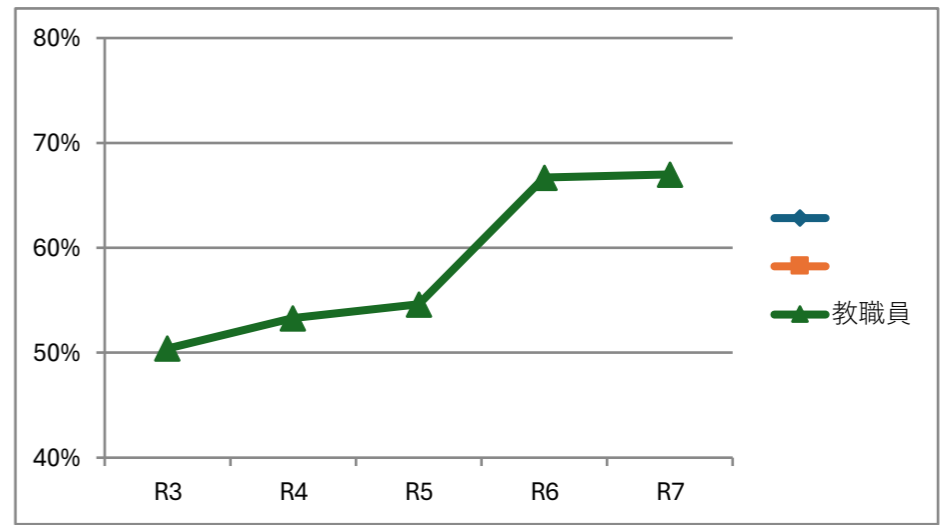
項目11 生徒指導部
7. 生徒 命の大切さや社会のルールについて、学んでいる。
8. 保護者 学校で命の大切さや社会のルールについて、学ぶ機会があると感じている。
6. 教職員 命の大切さや社会のルールについて、学ぶ機会を作っている。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	66.8%	70.9%	69.3%	72.5%	75.0%
保護者	60.6%	59.1%	55.6%	58.7%	61.0%
教職員	51.9%	59.4%	62.4%	69.9%	65.0%



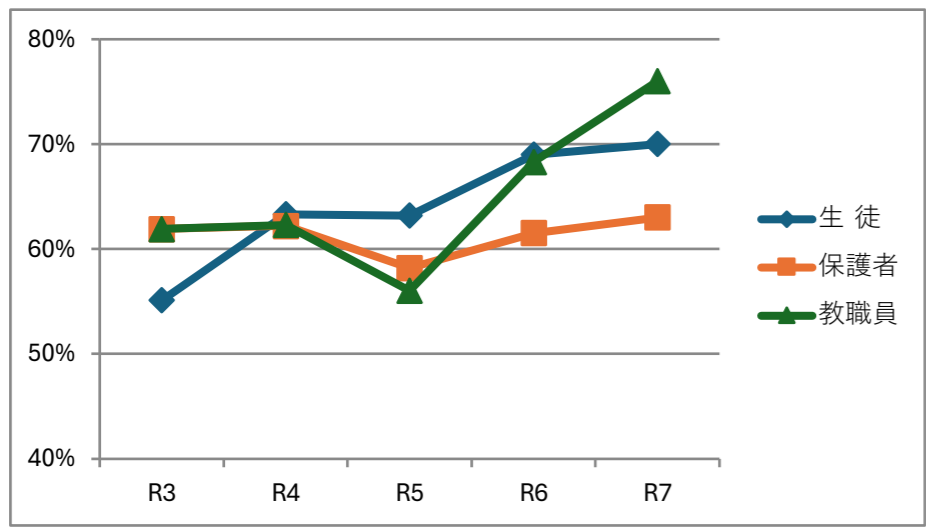
項目12 生徒指導部
7. 教職員 校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、生徒や教職員間で話し合う機会がある。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
教職員	50.4%	53.3%	54.6%	66.7%	67.0%



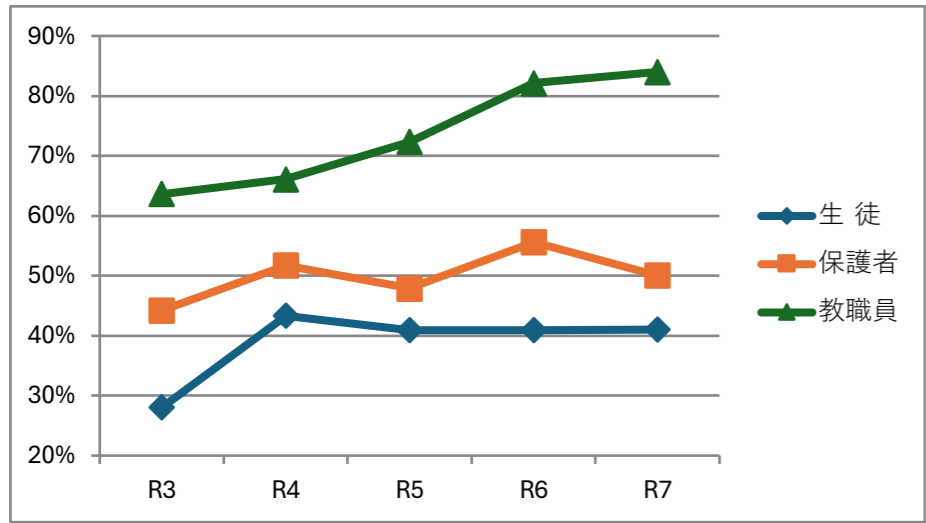
項目13 生徒指導部	8. 生徒 学校生活について、先生の指導は納得できる。 9. 保護者 学校の生徒指導の方針に共感できる。 8. 教職員 この学校では、生徒・保護者に対し、納得感のある生徒指導を行っている。
---------------	--

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	55.1%	63.3%	63.2%	69.0%	70.0%
保護者	61.9%	62.2%	58.2%	61.5%	63.0%
教職員	61.9%	62.3%	56.0%	68.3%	76.0%



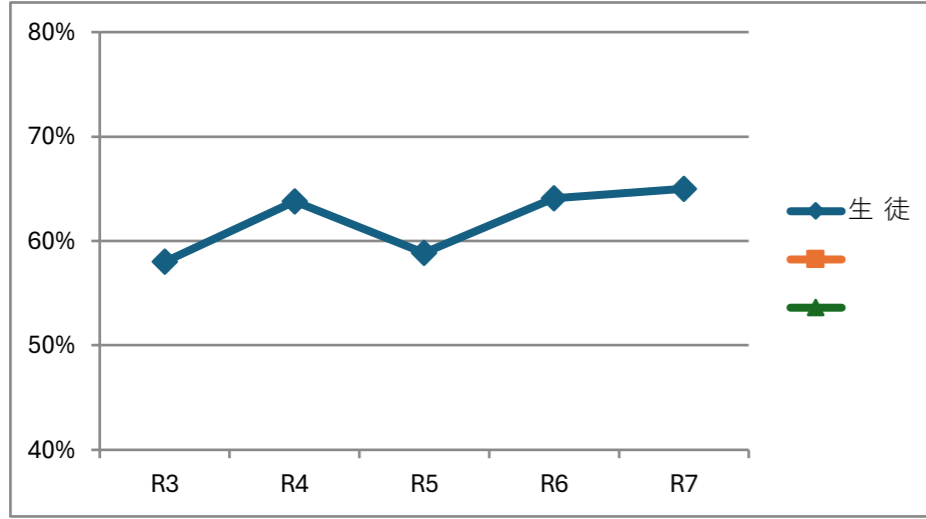
項目16 生徒会	11. 生徒 学校でボランティア活動や体験活動などを通して、校外の人と一緒にいることがある。 11. 保護者 学校でボランティア活動や体験活動などを通して、子どもが校外の人とかわる機会がある。 11. 教職員 学校はボランティア活動や体験活動など、地域とかわる機会を作っている。
-------------	---

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	28.0%	43.3%	40.9%	40.9%	41.0%
保護者	44.2%	51.7%	47.9%	55.6%	50.0%
教職員	63.6%	66.1%	72.3%	82.1%	84.0%



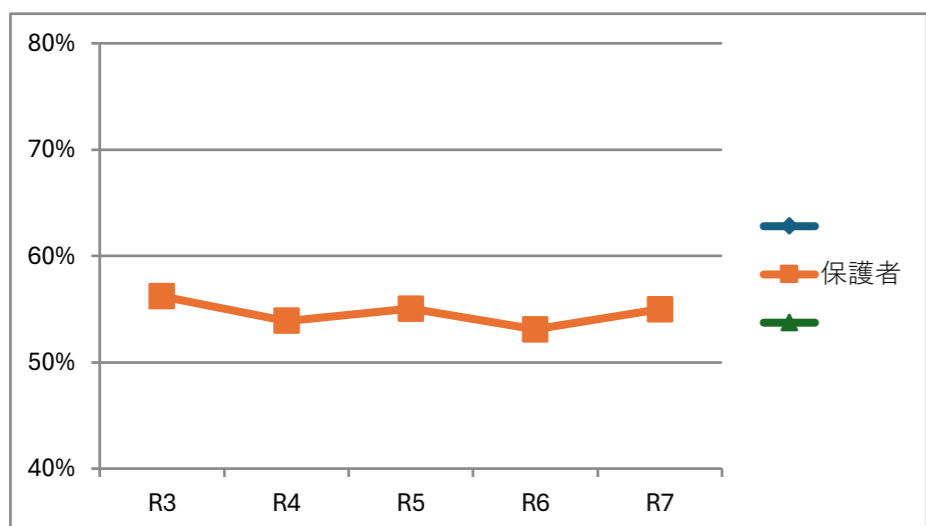
項目19 教育相談	14. 生徒 学校では、安心して生活ができる。
--------------	-------------------------

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	58.0%	63.8%	58.9%	64.1%	65.0%



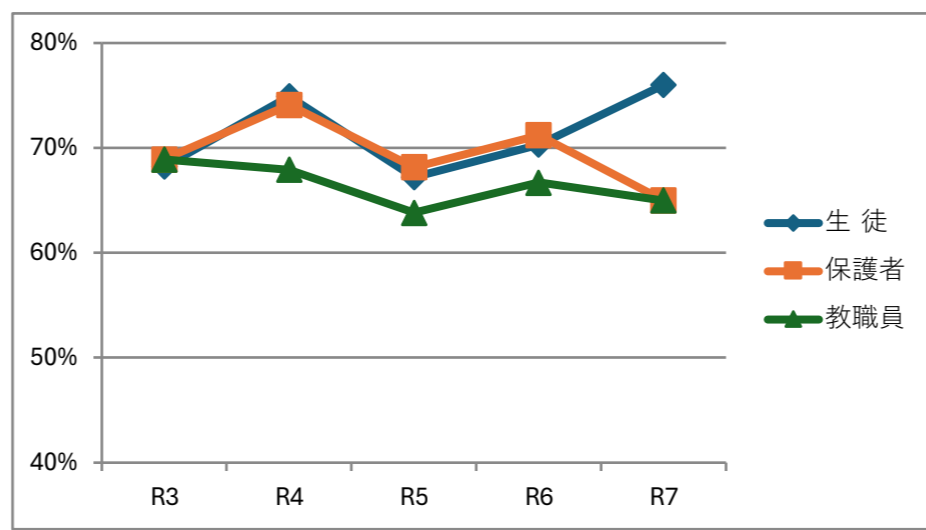
項目22 総務部(PTA)	15. 保護者 この学校の授業参観や学校行事に、関心がある。
------------------	--------------------------------

年度	R3	R4	R5	R6	R7
保護者	56.2%	53.9%	55.1%	53.1%	55.0%



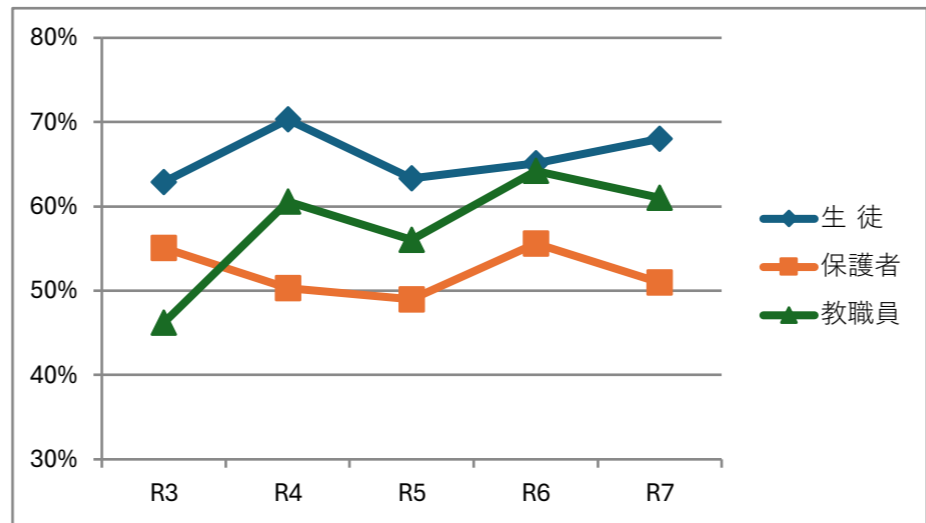
項目14 生徒会	9. 生徒 学校行事(遠足・文化祭・体育祭・修学旅行など)は楽しい。 10. 保護者 学校行事(遠足・文化祭・体育祭・修学旅行など)は楽しそうに参加している。 9. 教職員 学校行事(遠足・文化祭・体育祭・修学旅行など)は生徒にとって魅力のあるものになっている。
-------------	---

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	68.2%	74.9%	67.2%	70.3%	76.0%
保護者	68.9%	74.1%	68.1%	71.2%	65.0%
教職員	68.9%	67.9%	63.8%	66.7%	65.0%



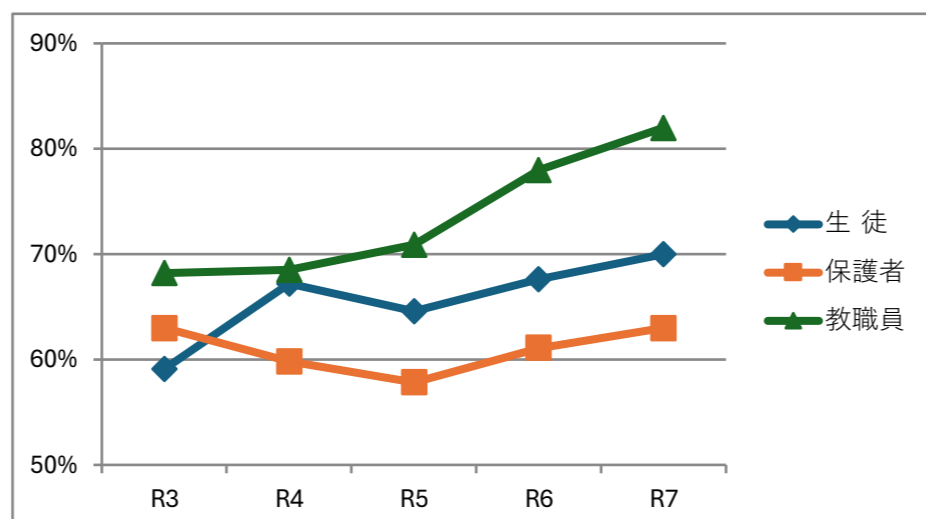
項目17 総務部	12. 生徒 学校での災害時に、どうすればよいかを知っている。 12. 保護者 学校での災害時に、どうすればよいかを子どもは知っている。 12. 教職員 学校での災害時の行動を、生徒に周知している。
-------------	---

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	62.9%	70.3%	63.3%	65.1%	68.0%
保護者	55.1%	50.3%	49.0%	55.6%	51.0%
教職員	46.2%	60.6%	56.0%	64.2%	61.0%



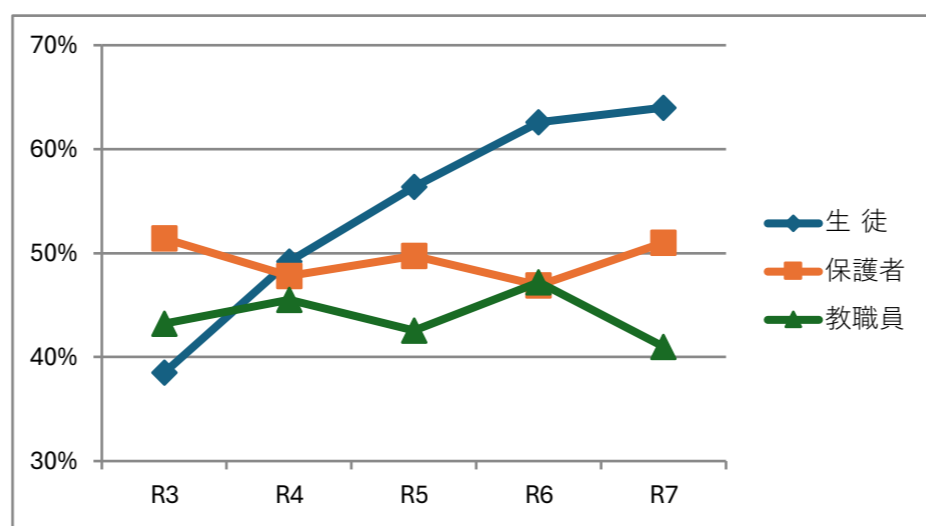
項目20 教育相談	15. 生徒 いじめ等について困っていることがあれば、先生は寄り添って対応してくれる。 14. 保護者 学校はいじめ等について、子どもの困っていることに寄り添って対応してくれる。 14. 教職員 いじめ等(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。
--------------	---

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	59.1%	67.2%	64.6%	67.6%	70.0%
保護者	63.0%	59.8%	57.8%	61.1%	63.0%
教職員	68.2%	68.5%	70.9%	78.0%	82.0%



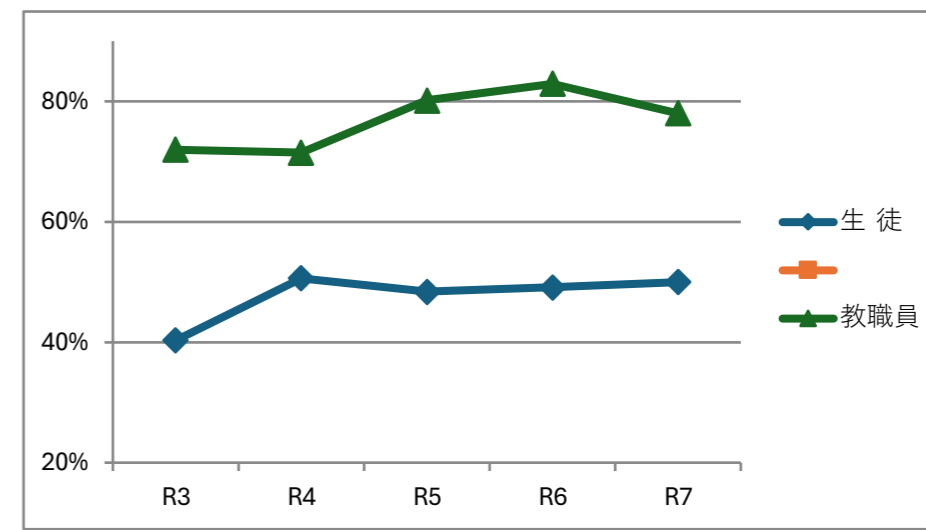
項目23 ICT	17. 生徒 学校で配付されたクロームブックを授業などで活用している。 16. 保護者 家庭において、携帯電話やクロームブック使用に関するルールを話し合っている。 16. 教職員 学校で配付されたクロームブックを授業などで活用する機会を作っている。
-------------	--

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	38.5%	49.2%	56.4%	62.6%	64.0%
保護者	51.4%	47.8%	49.7%	46.9%	51.0%
教職員	43.2%	45.5%	42.6%	47.2%	41.0%



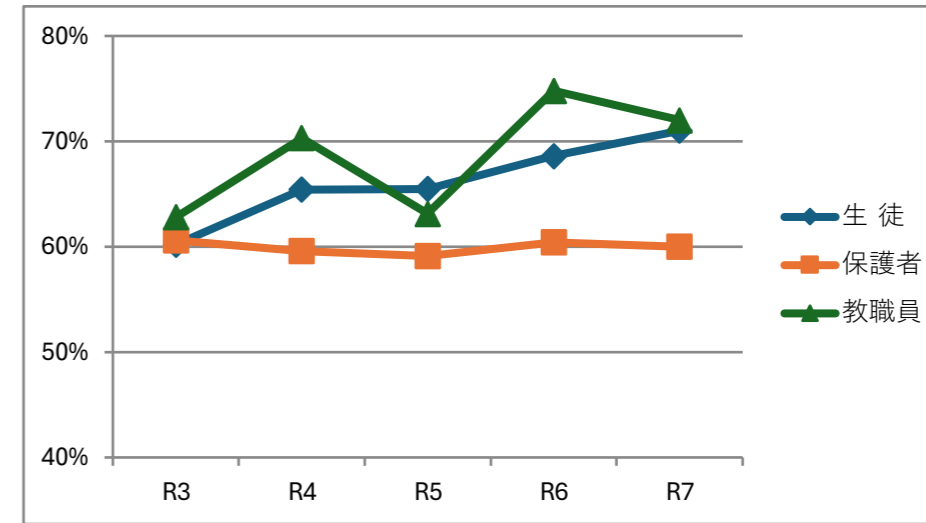
項目15 生徒会	10. 生徒 クラブ・校内イベント(国際交流、学校説明会など)や生徒会に参加したことがある。 10. 教職員 生徒との対話的な活動に力を入れている。
-------------	---

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	40.3%	50.6%	48.4%	49.1%	50.0%
教職員	72.0%	71.5%	80.1%	82.9%	78.0%



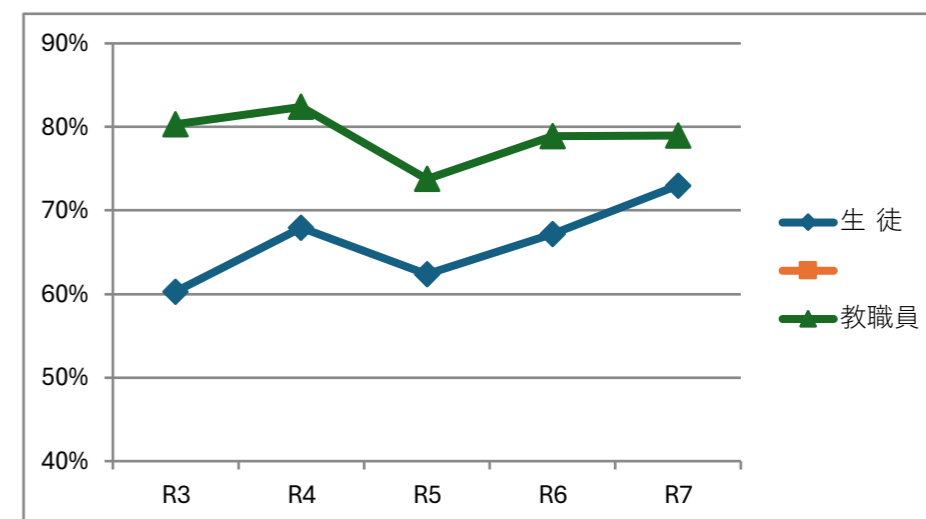
項目18 総務部	13. 生徒 先生は生徒の健康状態に気を配っている。 13. 保護者 先生は子どもの健康(食事・運動・睡眠等の体調)を気にかけてくれる。 13. 教職員 生徒の健康状態について把握できている。
-------------	--

年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	60.2%	65.4%	65.5%	68.6%	71.0%
保護者	60.6%	59.6%	59.1%	60.4%	60.0%
教職員	62.8%	70.3%	63.1%	74.8%	72.0%



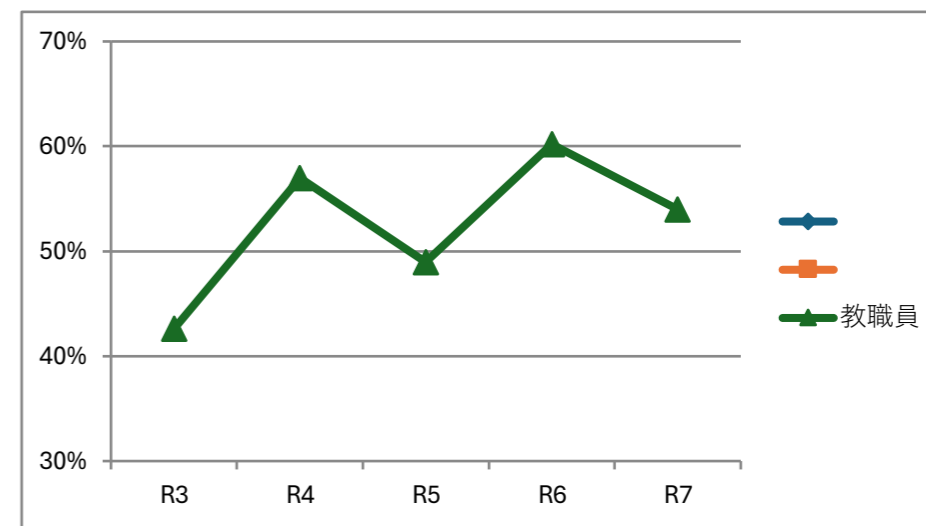
項目21 教育相談	16. 生徒 担任の先生以外にも、気軽に相談できる先生がいる。 15. 教職員 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。
--------------	--

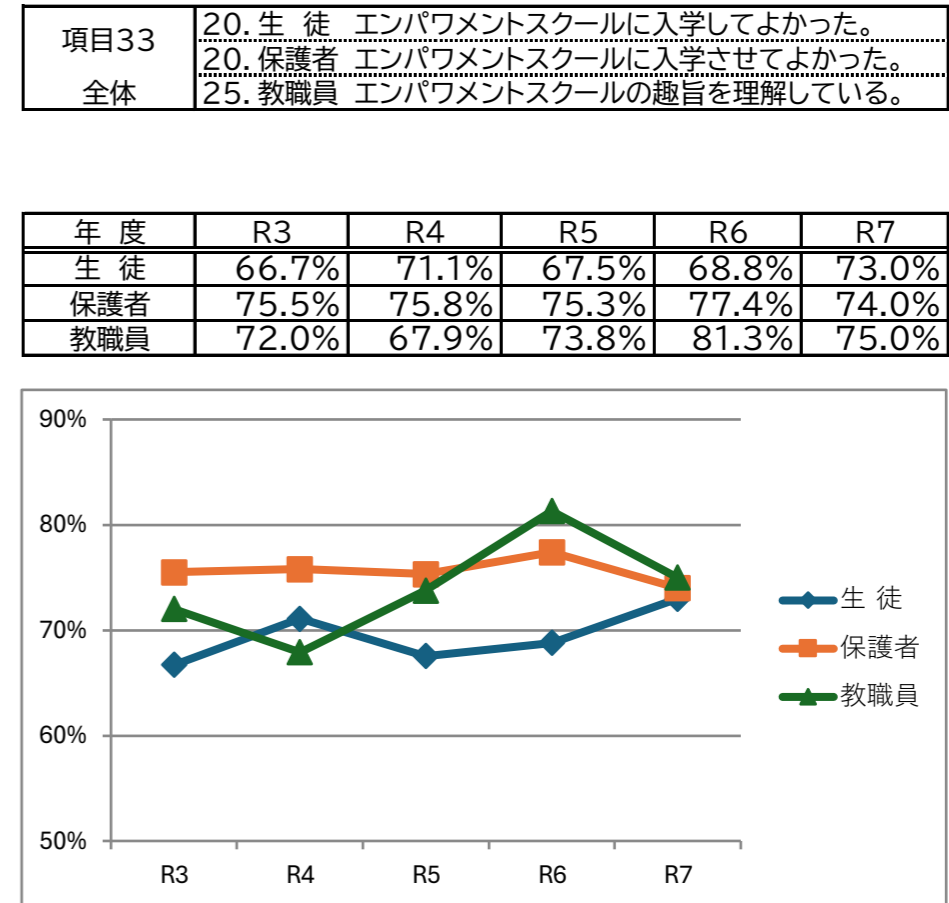
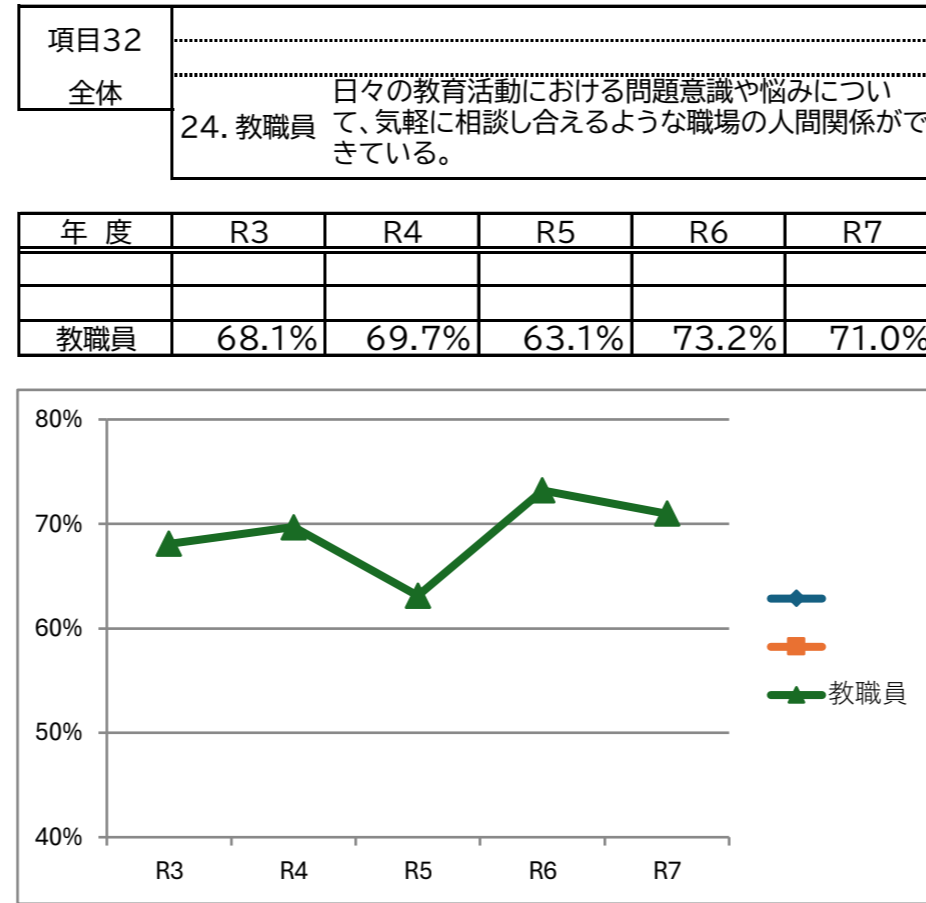
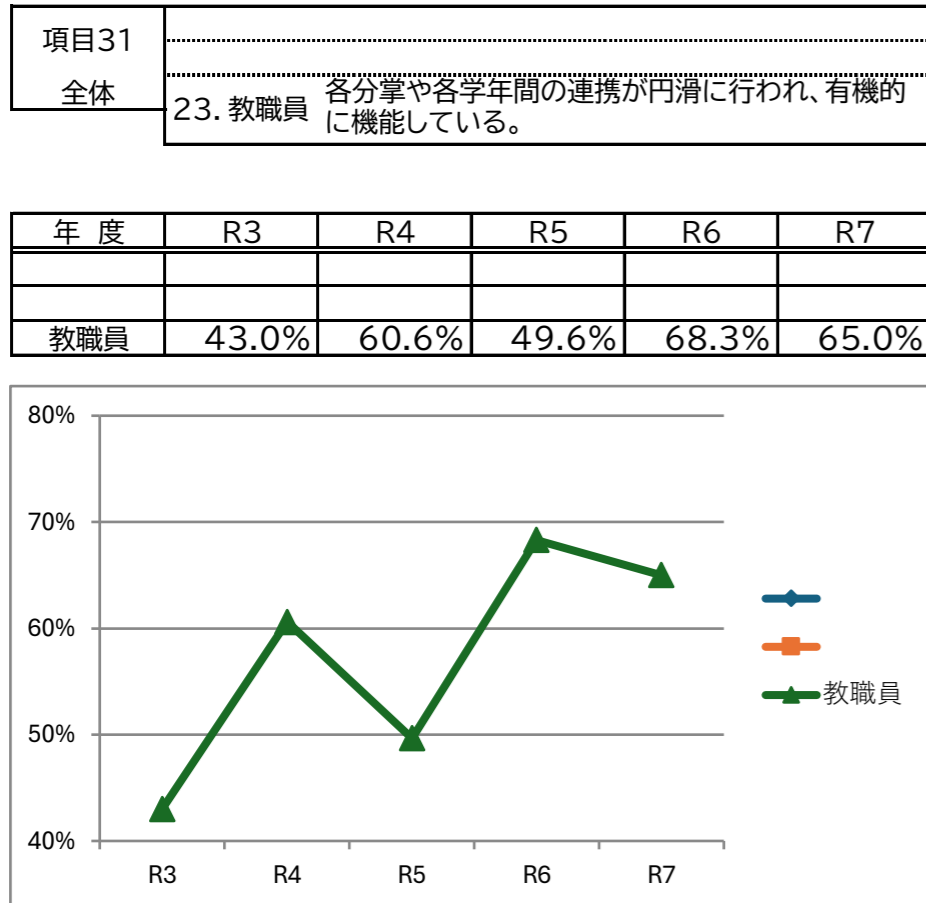
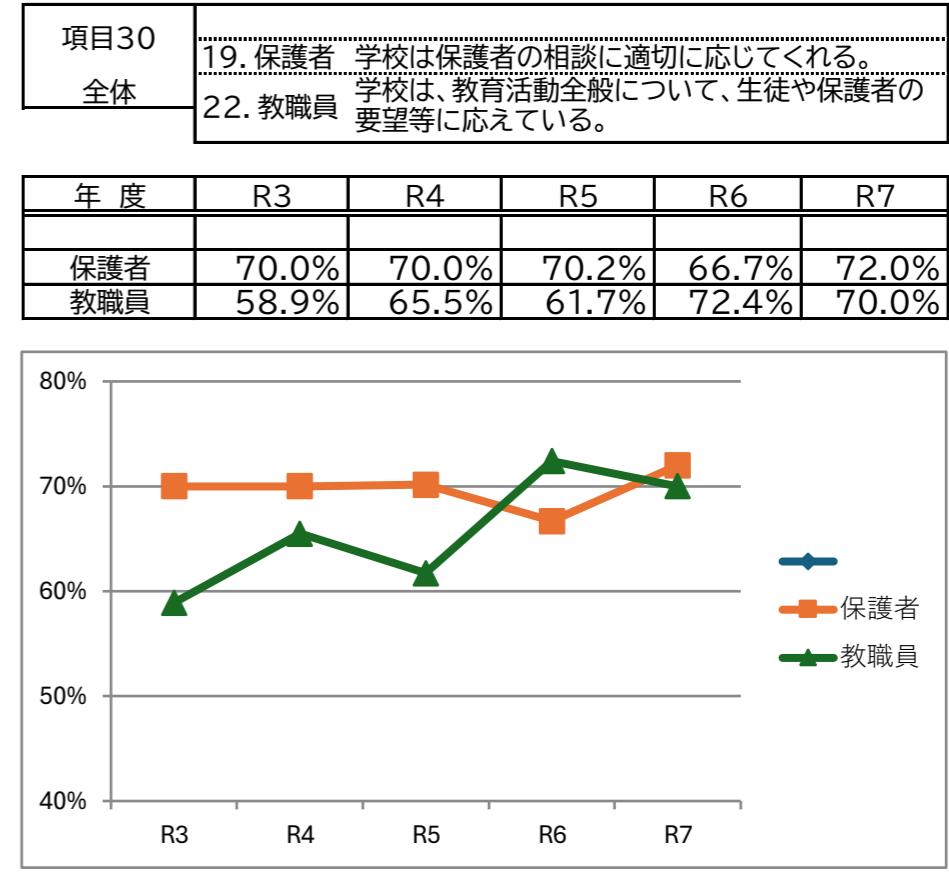
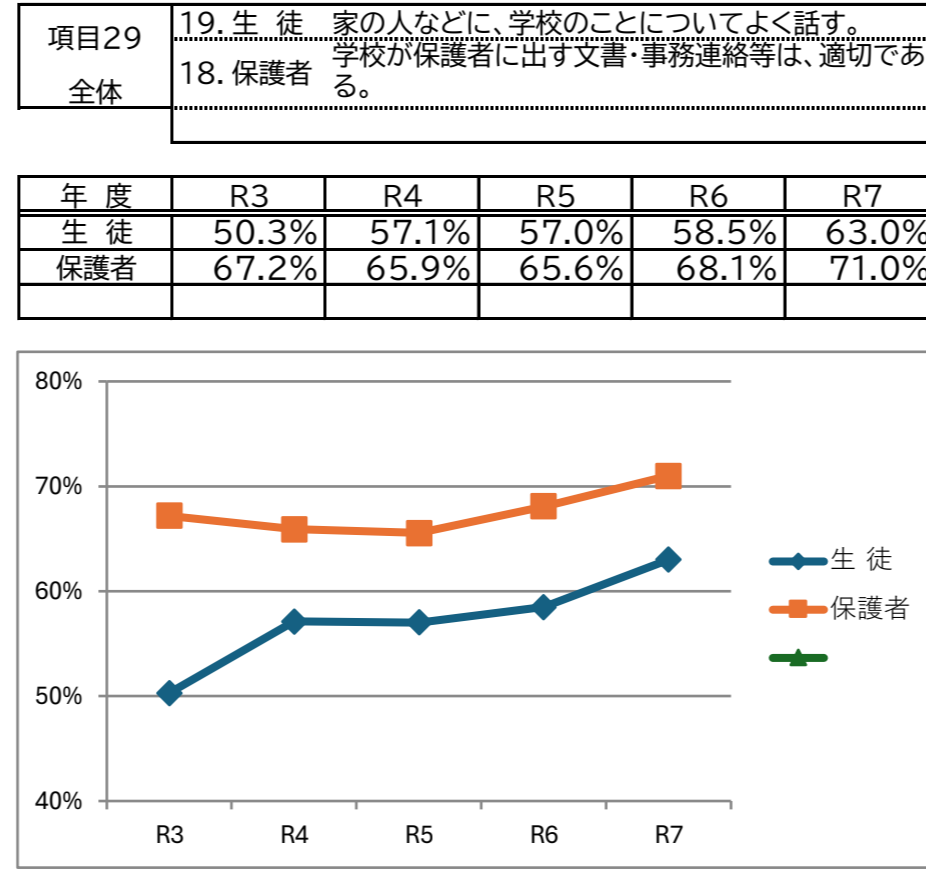
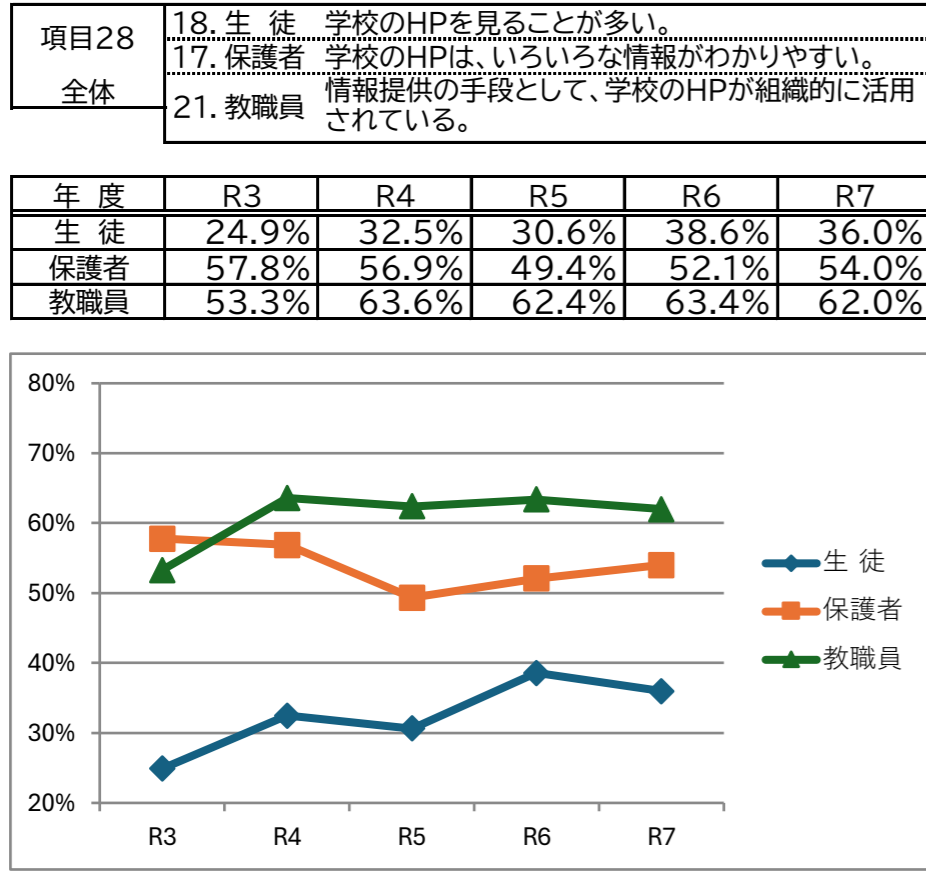
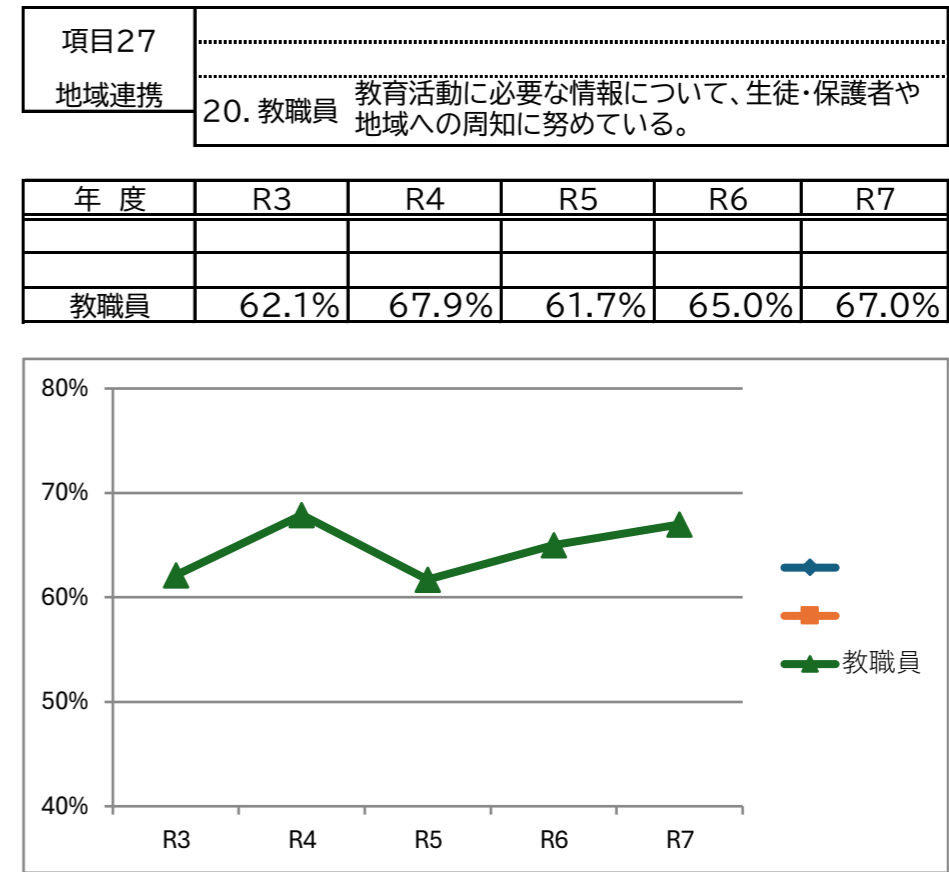
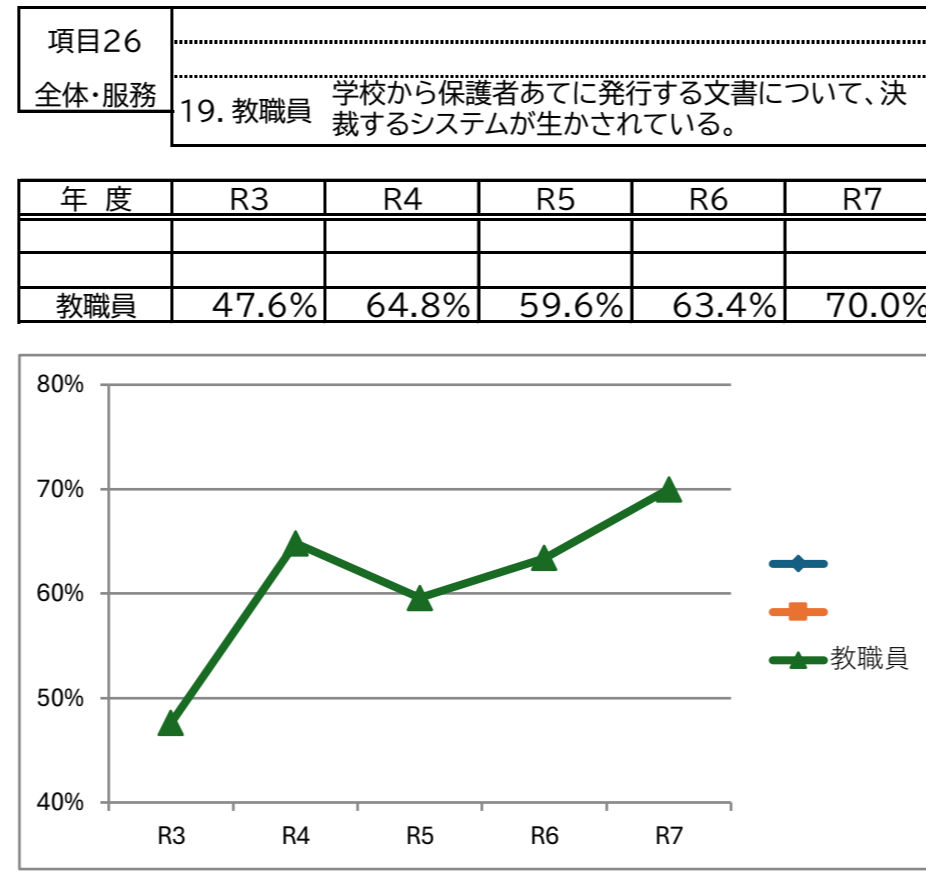
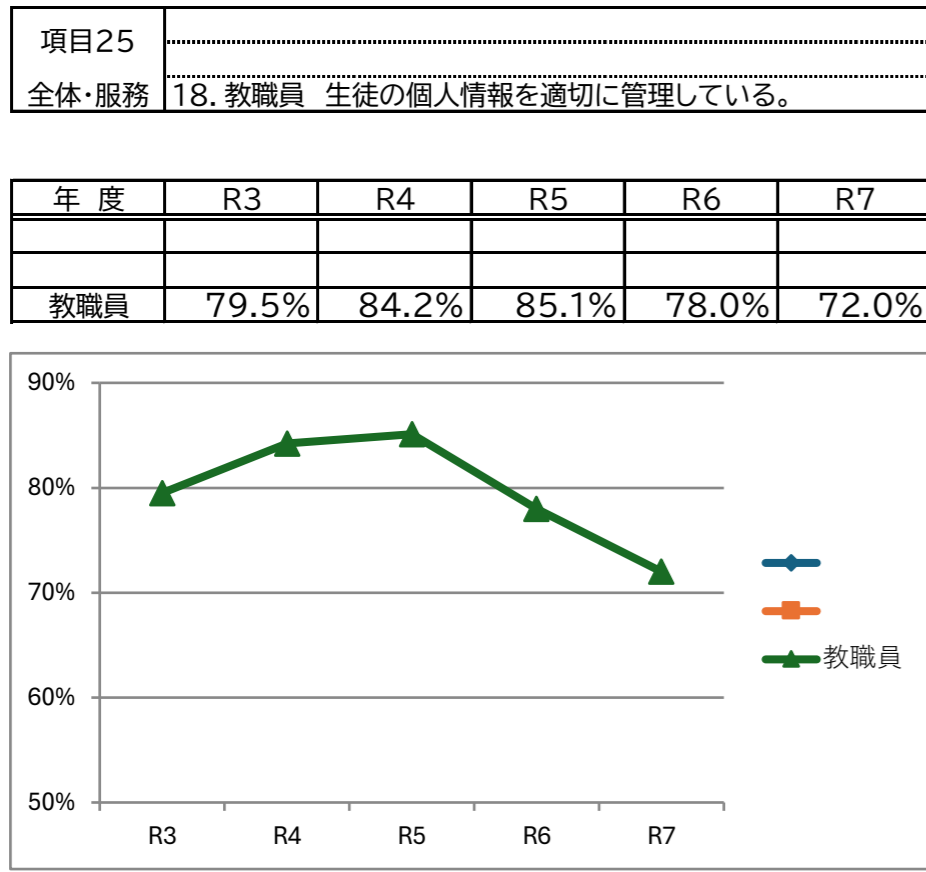
年度	R3	R4	R5	R6	R7
生徒	60.3%	67.9%	62.3%	67.2%	73.0%
教職員	80.3%	82.4%	73.8%	78.9%	79.0%



項目24 ICT	17. 教職員 この学校は、情報リテラシーや情報モラルを高める教育に取り組んでいる。
-------------	--

年度	R3	R4	R5	R6	R7
教職員	42.6%	57.0%	48.9%	60.2%	54.0%





2. 令和7年度 学校教育自己診断 分析及び考察

<肯定的な変化が見られた点>

○授業のわかりやすさ・楽しさの向上

「3. 授業はわかりやすく楽しい」【生徒:62.6%→65.0%】【教職員:72.4%→77.0%】

「33. エンパワメントスクールに入学してよかった」【生徒68.8%→73.0%】

➡わかりやすく楽しい授業展開が学習理解度の向上、および学習意欲の喚起に寄与していることがうかがえ、学習支援や学力の定着といったエンパワメントスクールに求められる教育活動に一定の成果がでている。

○承認教育の充実

「5. 努力を褒めてくれる」【生徒:71.3%→75.0%】【保護者:73.3%→74.0%】

➡生徒の取り組みを肯定的に受け止め、適切に承認するマインドが教員間に広がり、生徒の自己肯定感の向上につながっている。

○進路支援の充実

「7. 選択科目の適合」【生徒:66.2%→69.0%】

「8. 将来への見通し」【生徒:70.3%→73.0%】

「10. 進路指導のわかりやすさ」【生徒:68.2%→70.0%】【保護者:66.0%→67.0%】【教職員:71.5%→74.0%】

➡キャリア教育に関する支援の充実により、生徒が将来の目標をより明確に見定めようになってきた。選択科目の提示や進路支援の内容が生徒・保護者のニーズに合致し、学習と将来の結びつきが強化されている。

○安心・安全の実感の向上

「11. 命の大切さ・社会のルールについての学び」【生徒:72.5%→75.0%】【保護者:58.7%→61.0%】

「20. いじめ時の寄り添い対応」【生徒:67.6%→70.0%】【保護者:61.1%→63.0%】【教職員:78.0%→82.0%】

「21. 担任外の相談先がある」【生徒:67.2%→73.0%】【教職員:78.9%→79.0%】

➡学年・教科を越えた教職員の関わりが広がり、生徒が多様な相談先を認知できる環境が整備された結果、学校生活全体の安心感の向上につながっている。

○家庭とのつながりの強化

「29. 家で学校の話をする」【生徒:58.5%→63.0%】【保護者:68.1%→71.0%】

「30. 学校は保護者の相談に適切に応じている」【保護者:66.7%→72.0%】

➡学校・家庭の協働関係が強化されていることが示唆される。

<引き続き改善が必要な点>

○保護者の登校期待感への低下

「1. 子どもは学校に行くのを楽しみにしている」【保護者:63.5%→59.0%】

○情報発信の浸透不足

「28. HPを見ている、活用できている」【生徒:38.6%→36.0%】【教職員:63.4%→62.0%】

➡学校での活動内容や取組みが十分に可視化されておらず、情報到達率の向上が課題である。HP運用方法の改善に加え、SNS活用など複数媒体を効果的に組み合わせた情報発信体制の構築を検討する必要がある。

○教職員間のコミュニケーション・協働の弱まり

「4. 指導方法について検討する機会」【教職員:71.5%→65.0%】

「6. 教育活動全般にわたる評価を次年度に生かす」【教職員:70.7%→68.0%】

「31. 各分掌や各学年間の連携」【教職員:68.3%→65.0%】

「32. 気軽に相談し合える職場の人間関係」【教職員:73.2%→71.0%】

○Chromebook活用の伸び悩み

「23. Chromebookを活用している」【教職員:47.2%→41.0%】

➡授業改善や教育活動の質の向上に向けた意見交換・検討の場が減少していることがうかがえる。

特に授業におけるChromebook活用は定着しておらず、Chromebook活用を必然とする授業設計や教材準備など、教科・分掌を越えた協働体制の再構築が喫緊の課題である。

<総括>

令和7年度の学校教育自己診断では、授業改善・進路支援・安心安全の体制整備といった教育活動の基盤部分で、昨年度から引き続き向上が認められた。一方で、保護者への情報到達やChromebook活用の定着、教職員間の協働など、学校運営を支える基盤に課題がみられる。また、「エンパワメントスクールに入学してよかった(項目33)」については、生徒の評価が上昇した一方で、保護者および教職員では低下がみられ、三者間で学校評価に認識のずれが生じていることが明らかとなった。今後は、これらの改善領域について重点的に取り組むとともに、授業・進路・安心・安全といった本校既存の強みを維持・発展させることで、学校全体の教育力向上を図る必要がある。